

平成24年度国民保護図上訓練を実施しました

本県では、万が一大きなテロ等が発生した場合に、迅速かつ的確な県民の避難や救助・救護活動等が行えるよう関係機関と連携して国民保護訓練を実施しています。

本県では、平成19年度から国民保護訓練として、図上訓練と実動訓練を実施しています。今年度は、今回実施した図上訓練に加え、本年10月11日には実動訓練も実施することとしています。

訓練の概要

1 目的

国民保護法及び大分県国民保護計画に基づき、緊急処理事態等（大規模テロ災害）が発生した場合における法定手続きの確認及び派遣要請に伴う連絡調整や要請要領等について、習熟を図るとともに、10月11日に実施する実動訓練に向けた関係機関相互のさらなる連携強化のため

2 実施日時

平成24年8月7日（火） 14:00～16:00

3 訓練場所

県庁新館8階防災センター、対策本部会議室、防災危機管理課執務室内

4 訓練想定

- 緊急処理事態：同時爆発テロ災害
- 大分市大分駅構内及び別府国際観光港第4埠頭で同時に爆発、多数の負傷者が発生した

5 訓練参加機関

国土交通省大阪航空局大分空港事務所、自衛隊大分地方協力本部、自衛隊別府病院、陸上自衛隊第41普通科連隊、海上自衛隊呉地方総監部「海上自衛隊佐伯基地分遣隊」、大分県（防災危機管理課・消防保安室・地域福祉推進室・医療政策課・薬務室）、大分県警察本部（警備二課）、大分県警察本部警備部機動隊、別府警察署、別府市、別府市消防本部、杵築速見消防組合消防本部、日本赤十字社大分県支部、大分県医師会、別府市医師会

訓練の概況



訓練開始前。緊張の様子



県生活環境部危機管理監から、訓練開始前の挨拶



爆発発生連絡を受け、迅速に対応する各関係機関



自衛隊・警察・消防等関係機関が集まり、住民の避難などの方針を協議



訓練終了後、参加者全員で訓練の検証。